

患者の皆様へ

2022年11月8日

消化器内科

現在、消化器内科では、「本邦の炎症性腸疾患患者の多施設共同前向き長期観察研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2018年以降、炎症性腸疾患に対して診療を行った患者さんの検査や治療内容について診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「本邦の炎症性腸疾患患者の多施設共同前向き長期観察研究」

2. 研究の意義・目的

本邦で急速に増加している炎症性腸疾患を対象とした病勢、治療実態、および合併症の実態を長期間に調査し、今後の治療に役立てます。

3. 研究の方法

診療録に記載されている患者背景（性別、年齢、合併症）、症状・内視鏡所見、血液検査所見、治療内容等を利用して、本邦における炎症性腸疾患患者の病勢、治療実態及び合併症について長期間観察します。

対象となる期間：2018年6月から2025年7月まで（2029年3月まで延長予定）

4. 研究組織

研究組織および研究責任者は下図になります。

医療機関名	研究実施責任者名 (実務担当者)
千葉大学大学院医学研究院 消化器内科学	加藤直也
	加藤順
	(松村倫明)
	(小笠原定久)
	(對田尚)
	(太田佑樹)

国保君津中央病院	消化器科	駒嘉宏
千葉ろうさい病院	消化器内科	榘谷佳生
国保旭中央病院	消化器内科	紫村治久
千葉メディカルセンター	消化器内科	福田吉宏
千葉市立青葉病院	消化器内科	橘川嘉夫
JCHO 船橋中央病院	消化器内科	山口武人

5. 個人情報の保護について

取得したデータは個人情報を削除して統計解析します。患者さんの秘密保護に配慮し、試験の結果を公表する際は、個人を特定できる情報を含まないようにし、また、得られた患者さんの情報は、同意が得られた場合は将来の医学研究のために使わせていただきます。取得したデータは病院病歴室及び医学部本館消化器内科学教室において管理、解析されます。

別途同意いただいた方から収集したデータはデータセンターにて、NTTコミュニケーションズが独自開発した暗号化システムを利用して、これまでの暗号方式以上に解読が極めて困難な秘密保護方式で保管されるため、患者さんの個人情報については高度のセキュリティを確保しております。

6. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力いただけない場合には、結果の公開前であればいつでも対応しますので、ご遠慮なくお申し出ください。

研究実施機関 : 総合病院国保旭中央病院
本件のお問合せ先 : 研究責任者 消化器内科 紫村 治久
臨床研究支援センター
電話 : 0479-63-8111 (代)

文部科学省、厚生労働省が定める「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年4月 文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」に基づいて掲示を行っています。